

科学者委員会 研究計画・研究資金検討分科会
基礎医学分野の大型研究計画評価小分科会（第1回）
議事要旨

日時 平成31年4月22日（月）10:00～11:30
会場 日本学術会議 5-A（1）会議室
出席者 遠藤委員、岡部委員、神奈木委員、菊池委員、松田委員、田中委員、
本間委員、柚崎委員、駒井委員
事務局 犬塚参事官、高橋参事官補佐、高谷審議専門職、大澤審議専門職付

配布資料

- 資料1 第1回評価小分科会での確認事項
- 資料2 マスタープラン2020策定に関わる利益相反排除の方針
- 資料3 学術大型研究計画策定における審査・評価プロセスについて
- 資料4 評価小分科会及び委員の役割
- 資料5 マスタープラン2017において重点大型研究計画に選定された区分Iの研究計画で、継続条件を満たしかつ継続を希望する研究計画の継続審査について
- 資料6 区分IIの研究計画の適否のチェックについて
- 資料7 基礎医学分野の応募提案一覧【非公開資料】

- 参考1 小分科会委員名簿
- 参考2 第24期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針
- 参考3 公募要領
- 参考4 学術研究領域コード表

議 題

- 1) 役員の選任について
互選により、委員長として菊池委員が、副委員長として岡部委員が、幹事として松田委員がそれぞれ指名され、出席委員から承認された。なお、議事要旨については各委員で内容確認後、委員長に一任すること、また、委員間でメールアドレスを共有することが承認された。

- 2) 利益相反についての考え方の確認
研究計画・研究資金検討分科会委員でもある駒井委員より、審査における

利益相反についての考え方の説明があった。遠藤、岡部委員より、個別の議題について利益相反に関わる可能性についての質問があり、規定に従って対処することとした。

3) 評価小分科会における審議事項等

研究計画・研究資金検討分科会委員でもある駒井委員より、資料について説明があった。神奈木委員より、コミュニティーの合意をどのように評価するのかとの質問があった。意見を交換したのち、提案書を読んで、委員の良識に従って判断するとの合意を得た。

4) 取りまとめの審議の方法の決定

本小分科会では、各委員による評価の後に行う、区分Ⅰ（学術研究領域で融合領域（コード32-1）を選択した提案を除く）の順位づけのとりまとめの審議の方法は、委員間でメール等による議論を行ったうえで決定することとした。また、副分野として、本小分科会の担当する分野を指定されている提案について、副分野での評価を依頼するか議論し、依頼することとした。

5) 今後のスケジュール

資料に沿って確認が行われた。

6) その他

柚崎委員より、項目評価のやり方についてコンセンサスを得るべきではないかとの意見が出されたが、さまざまな制約もあることから、個々の委員の見識に基づいて判断するとの合意を得た。また、重点大型研究計画継続の審査についての質問が岡部委員、本間委員よりだされ、その回答は後日メールにて事務局より回答することとなった。なお、本回答は4月23日付けで各委員に通知済みである。

文責 松田